



# 山形県言語聴覚士会会報

平成 27 年 7 月 1 日 発行

## ご挨拶

第 39 号会報に寄せて

山形県言語聴覚士会  
会長 田口 充

仙台で開催された言語聴覚学会では山形県から、多数参加されていたようでした。多数の研究報告や著名な先生方からの講演、企業展示などたくさん情報を仕入れてきたのではないのでしょうか。参加された方お疲れ様でした。

さて地域の保健医療課題に関しては、山形県や市町村をはじめ各団体や地域住民の協力の元、様々な取り組みが行なわれており、現在は地域包括ケアシステムの構築に拍車がかかっております。総会時にお話したように山形県でも地域性を考えたシステムを作り上げていこうとしています。県と市町村との協力のもとで実施している自立支援型地域ケア会議普及事業もその一つかと思えます。都道府県代表者会議や代議員会等に私が参加して全国的な動向を聞いてきていますが、地域ケア会議に県レベルで計画的に言語聴覚士が参加しているのは（参加しようとしている）、全国的にも早いようです。ただその分、人材育成や派遣調整など色々と大変なことが多く、早く取り組んでいるからこそ課題を多く見つけます。全国の言語聴覚士から山形県の地域ケア会議に対する動向が注目されています。言語聴覚士は専門家として心や体の機能の改善や職場等における健康づくり、介護予防の取り組みを通じ個人レベルや団体レベルでの社会的寄与を行っていくことが求められています。障害を持って閉じこもりにさせず人と社会のつながりを強化し、活発に社会参加ができる元気な方々が多くなれば地域は文化・経済・技術・生産など様々な面で活性化されていきます。地域医療においてリハビリテーションの視点から何ができるのかを戦略的に考え、県士会が一丸となってその実現に取り組む必要がありますので今後ともご協力よろしくお願ひします。

## 役員会議事録



『第97回』 日 時：平成27年5月24日 9:00～12:00 山形市総合福祉センター1F

参加者：田口、伊東、石川、荒井、横尾、千葉、菅根、会田、大友

- 内 容：①各部門から報告  
②総会・研修会  
③地域包括ケア・市町村介護予防事業  
④事業総括・計画  
⑤その他

『第98回』 日 時：平成27年5月24日 9:00～12:00 山形市総合福祉センター1F

参加者：田口、伊東、石川、荒井、横尾、千葉、菅根、会田、大友

- 内 容：①各部門から報告  
②総会・研修会  
③地域包括ケア・市町村介護予防事業  
④予算案について  
⑤その他

『第99回』 日 時：平成27年6月13日 16:00～17:00 山形市総合福祉センター1F

参加者：田口、伊東、石川、荒井、横尾、鈴木、伊藤、千葉、菅根、会田、大友

- 内 容：①総会・研修会の総括  
②地域包括ケア、市町村介護予防事業  
③最上地区モデル事業

## 平成27年度 山形言語聴覚士会 定期総会議事録

日程 平成27年6月13日(土) 9:30～

場所 山形市福祉センター 2階交流ホール

参加 65名 (正会員154名 委任状59名)

議長 山口 浩一 (国立米沢病院)

総合司会 大友 美香 (三友堂リハビリテーションセンター)

### I. 内容

1. 開会の言葉 伊東 真一 (日本海総合病院酒田医療センター)
2. 会長挨拶 会長氏名 田口 充 (協立リハビリテーション病院)
3. 定数報告

報告者： 石川 良子 (事務局：ことばのダイルーム奏)

参加者 65名 (正会員154名 新会員承認済・未) 委任状59名 計124名

現会員数 154名

現会員数の2/3以上の出席者

数規約第10条(1)より総会成立

4. 議長団選出

立候補なし 役員会より選出

議長 山口 浩一 (国立米沢病院)

書記 柚山 万里子 (山形県立中央病院)

議事録署名人 藤木 美里/田井 良宏 (ともに篠田総合病院)

5. 議題検討 質疑応答 決議

6. 閉会の言葉 伊東 真一 (日本海総合病院酒田医療センター)

II. 議題

1. 平成26年度活動報告・収支決算報告

(1) 平成26年度言語聴覚士会役員会活動報告

報告者：大友 美香 (三友堂リハビリテーションセンター)

総括：田口 充 (協立リハビリテーション病院)

・地域包括ケアシステム：4つのモデル地域(鶴岡、山形、最上、長井)地域ケア会議にSTも参加していく。

・ペーパーレス化：郵送していた時と同様の研修会参加率だが、ホームページ・メールマガジンをよりよいものにしていく。

・法人化：行政書士に依頼し、準備を進めている段階。今年度中に具体化。

質疑応答

問1： 質問者 伊藤 誠 (特別養護老人ホーム長生園)

法人化していくときの費用の問題、法人を維持していくためにどう考えているか？

答1： 回答者 田口 充 (協立リハビリテーション病院)

費用について、法人化手続き15万程度を特別予算でねん出。式典、祝賀会に対して積立している。税金についてが収益はないので課税なし。金銭面での負担は現在のところは特になし。法人化して他団体と一緒に活動するうえで法人から出資していくことはあるかもしれない。その時は会費の値上げ等を検討する

**挙手をもって賛成多数にて承認**

(2) 平成26年度地域リハビリテーション委員会活動報告

報告者： 會田 明希絵 (介護老人保健施設あこがれ)

質疑応答なし

**挙手をもって賛成多数にて承認**

2. 平成26年度収支決算報告

(1) 平成26年度言語聴覚士会会計決算報告

報告者： 伊藤 希 (庄内余目病院)

会計監査報告：報告者 柏原 (山形県立河北病院)

## 質疑応答

問1 質問者 伊藤 誠 (特別養護老人ホーム長生園)

地域連携手帳の予算はどこから出ているのか

答1 回答者 田口 充 (協立リハビリテーションセンター)

STからは2万円拠出、PT,OT各士会からも拠出金を出している。

問2 質問者 伊藤 誠 (特別養護老人ホーム長生園)

リハビリテーション手帳の発信はどこから。

答2 回答者 田口 充 (協立リハビリテーションセンター)

リハビリ手帳を持っていない患者様、利用者様が来た場合はこの施設から発信してもらってもよい。

問3 質問者 伊藤 誠 (特別養護老人ホーム長生園)

特老で手帳を利用者から受け取ることはあるが、もし特老から渡したい時はどうしたら手帳がもらえるのか。

答3 回答者 會田 明希絵 (老人介護保険施設あこがれ)

これまでは通所リハ施設までにしか手帳を発送していないが、今年度の増刷分から特老にも発送する。

**挙手をもって賛成多数となり承認**

## 3. 平成27年度活動計画(案)に関する件

提案: 田口 充 (協立リハビリテーション病院)

〈議案書に載っていない内容として〉

- ・昨年度から言語聴覚士協会から代議員制度が開始。今年度も代議員選出選挙がある。ぜひ関心をもって立候補してほしい。
- ・在宅推進事業(県からの委託事業):最上地区が担当(新庄徳洲会病院 沼澤 明日美)  
摂食嚥下障害についての研修会を実施する

## 質疑応答

問1 質問者 板垣 優子 (庄内余目病院)

法人化について会員からの承認がないのに、準備費が計上されていることが不安

法人化のデメリットは?

答1 回答者 田口 充 (協立リハビリテーション病院)

デメリットは、他団体と連携しての活動をすることによって費用がかかること。他には細かい会計処理が必要となってくるなど、事務的な手続きは煩雑になると思われる。

予算を挙げておかないと、いざ法人化となった時に何も動けない。臨時総会で否決されればこの予算は使わないことになる。

問2 質問者 板垣 優子 (庄内余目病院)

会員は若年層が多くなっている。金銭的な負担やマンパワー的な負担が大きくなるのではないのか。

PT,OTたちの経験年数の長い人たちと肩を並べて活動ということは難しいのでは?

答2 回答者 田口 充 (協立リハビリテーション病院)

若いからといって避けられるものではない。これからもっと若い人たちが増えていくことを考える

と今やらなければならない。

意 1 意見者 渋谷 和枝 (山形市立病院済生館)

PT、OT 士会には県やその他の団体から様々なイベントについての情報が入ってくるが、ST 士会には入ってこなかった。その差はやはり法人化していないことが原因。今こそ法人化していかなければならない。

挙手をもって賛成多数にて承認

4. 平成 27 年度会計予算 (案) に関する件

提案: 氏名 伊藤 希 (庄内余目病院)

質疑応答

問 1 質問者 伊藤 誠 (特別養護老人ホーム長生園)

他の団体では研修会では参加費をとっている。来年度以降は、研修会参加費を徴収するなど検討していく必要がある。

答 1 回答者 田口 充 (協立リハビリテーション病院)

会費、研修会参加費等についても今後状況を見て検討していく

挙手をもって賛成多数にて承認

5. その他議題

- ・法人化準備委員会より: 定款を作成している段階。臨時総会で会員にご報告できる
- ・広報部より: 2015 年 4 月からメールマガジンのサービスの業者を変更したことにより費用が増えたが、紙ベースをで郵送していた時に比べ経費削減になっている。メールマガジン配信後にホームページの閲覧が増えるなど実績もあがっている。メールマガジンの登録をしていない方はホームページから行ってほしい。
- ・会長より: 役員が出産、育児休暇に伴い 1 名欠員。事務局が ST が少ない施設に移ったことで大変負担となっている。事務局補佐として至誠堂病院 横山さんに依頼し内諾を得ているが、承認していただけるか。

挙手をもって賛成多数にて承認

- ・研修部より: 地域ケア包括ケアシステムで 4 つの地域からモデル地区を決め、専門職として ST を派遣することになっている。今後をも各地区の会員の協力をお願いしたい。

6. 閉会の言葉 伊東 真一

終了時刻 11:13

研修部より

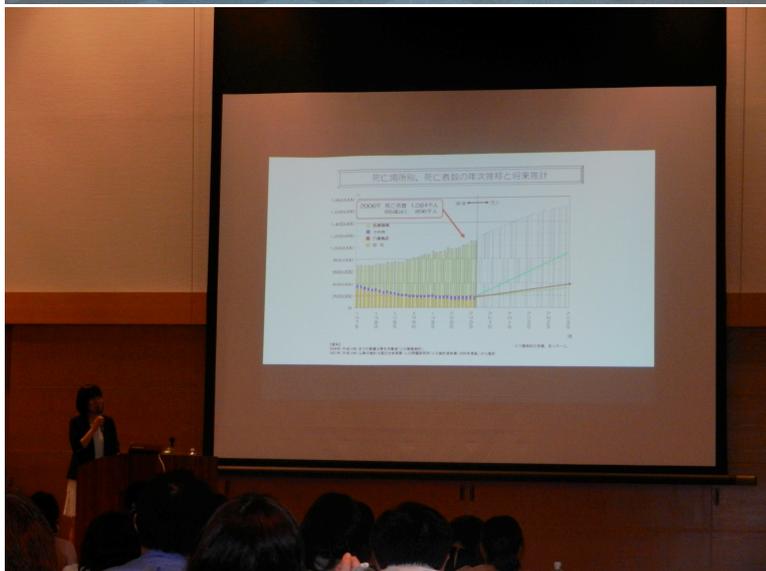
お疲れ様でした m(\_\_)m

## 平成27年度 第1回研修会 開催

平成27年6月13日、総会終了後に第1回研修会を開催しました。

研修会第1部では至誠堂総合病院 歯科衛生士 児玉俊恵氏より「誰もやりたくない、されたくない口腔ケア」**超高齢化がもたらした口腔汚染**」のタイトルでご講演いただきました。口腔汚染が全身疾患であること、テクニックだけでは口腔衛生は守れないこと等、口腔ケアの奥深さを感じさせられる内容でした。

第2部では介護老人保健施設マロニエ苑 言語聴覚士 黒羽真美氏より「地域包括ケアシステムにおける言語聴覚士の役割」のタイトルでご講演いただきました。制度改正、自立支援へのアプローチ、STとしての新たな取り組み等、関係各所が公表している膨大な情報の中から特にSTに必要な点をご説明下さいました。地域包括ケアシステムの構築は、市町村や職能団体等が一致団結して取り組む一大事業です。今回の研修会が地域で活動する上での参考となれば幸いです。





会計より

平成 27 年度年会費納入のお願い!!

年会費・入会費未納の方はご入金くださいます様お願いしま

す!!

入会金：1000 円（新規会員のみ）

会 員：5000 円

準会員：3000 円

[振込口座]	振込支店名	:	山形銀行 上山支店
	預金種目	:	普通預金
	口座番号	:	3-105-563
	口座名義人	:	山形県言語聴覚士会 代表 田口充

広報より

メルマガ登録のお願い

当会からの研修会の案内・会報発行等情報はメールマガジンでの配信にて行っております。新人の方々やまだお済みでない方は、是非とも当会の HP からメルマガ登録をお願いいたします。また、HP のアクセス数を増やすべく様々な企画を考えていきたいと思っております。会員の皆様からも「こういうことをやってほしい」といった案がありましたら、事務局やお近くの役員までお知らせください。よろしくお願いいたします。

事務局より



**\*\*\*事務局の異動について\*\*\***

今年度より当県士会事の務局が篠田総合病院からまなびのへやバンビーナに異動となりました。  
何卒、宜しくお願いいたします。

**事務局**

合同会社ヴォーチェ まなびのへやバンビーナ松原

担当: 石川良子

山形市松原 800 番地 5

TEL: 023-674-6150、FAX: 023-674-6106

E-mail: [gengoshikai@yahoo.co.jp](mailto:gengoshikai@yahoo.co.jp)

☆今年度から、ST 士会名簿は会員毎には郵送しないことになりました。今年度、ST のいない職場に入職された新人の方にのみ郵送します。会員の皆様で、名簿郵送を希望される方は、事務局までメールでご請求下さい。(所属とお名前をお願いします。各施設に 1 部の発送となります。)

☆退会・変更届について

当会の退会を希望される方、職場や郵便物送付先や姓の変更等を申し出る方は、届出を事務局に郵送または FAX にてご送付ください。

「入会届」「退会届」「変更届」は当会 HP からダウンロード可能です。もしくは事務局にご連絡頂ければ、郵送にてお渡ししています。

☆当県士会は日本言語聴覚士協会の下部組織となっている為、できるだけ多くの会員の皆様に協会への入会をお願いしております。

**新入・退会・異動等会員情報(平成 27 年 6 月 28 日現在)**

会員数は 154 名 (内準会員 4 名) となっています。

〔新入会〕

斎藤 花菜 (湯田川温泉リハビリテーション病院)

星川 稜水 (日本海病院酒田医療センター)

阿部 暉 (鶴岡協立病院)

岡部脩平 (鶴岡協立リハビリテーション病院)

御橋 一希（鶴岡協立リハビリテーション病院）

開沼 勇治（介護老人保健施設 梅花苑）

榎 晋也（新庄徳洲会病院）

岡崎 資恵（山形市立病院 済生館）

山田 哲郎（山形市立病院 済生館）

中村 龍太郎（国立病院機構 山形病院）

米澤 裕美（山形大学医学部附属病院）

高橋 裕愛（至誠堂総合病院）

大高 美貴（篠田総合病院）

鏡 早苗（篠田総合病院）

〔所属先変更〕

内山 麻美（自宅 → 山形県立総合療育訓練センター 庄内支所）

柚山 万里子（山形県立総合療育訓練センター → 山形県立中央病院）

太田 二葉（ことばのデイルーム奏 → 自宅）

遠藤 新悟（日本海総合病院酒田医療センター → 日本海総合病院）

粕谷 砂知子（鶴岡市立湯田川温泉リハビリテーション病院 → 寒河江やすらぎの里）

池田 智美（三友堂リハビリセンター → 三友堂病院）

〔姓の変更〕

内山麻美（旧姓：阿部 山形県立総合療育訓練センター 庄内支所）

宮本 静佳（旧姓：佐藤 日本海総合病院）

渡部 萌（旧姓：児玉 三友堂リハビリセンター）

〔退会〕

間 駿一（三友堂リハビリセンター）

菅野 恵莉彩（篠田総合病院）